

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 320

発生場所	トイレ	精神・意識障害の有無	無	リスク
発生場所 (その他)				
関連したもの	椅子、標識・表記	発生内容の分類	転倒	D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク

発生内容

車イストイレに、後つけた多目的シートがあります。「巾60cm長さ200cm」検査前の処置で浣腸を行った（成人・自立）その際、患者さんがベッドからすべり落ちてしまった。

概要

浣腸処置前に、起きあがろうとして、尻からすべり落ちた。看護師は器具を準備するため一瞬目を離してしまった。

要因

①巾がせまく、体位変換は出来ないため、一度坐位になり体位を変える必要がある。 ②皮膚にやさしいためシートの角がすべりやすく、落下しやすい。つかみづらい ③注意喚起シートは壁にもシートにも貼られているが、使用前に見ない ④浣腸処置のため、身体的に緊張やあせりがある。

対策

1.多目的シートのインシデントははじめてであり、（設置後3年ですが）皆に周知する予定です。 2.患者さんへの周知方法も検討する予定

参照

(解説文) 車椅子トイレ内の多目的シート



(解説文) 多目的シートは柔らかくて丸くて、肌には優しいが滑りやすく、掴みづらい。

